

2009年度男女共同参画推進委員会報告

「男女共同参画推進行動計画」（2008年5月）では、「活動方針に基づいて、具体的な活動計画と達成目標を定めて、その成果の検証を行う」こととしており、男女共同参画推進委員会での議論に基づいて、それぞれの活動方針について活動計画と達成目標を定め、実施体制を整えて具体的な活動を行っている。

男女共同参画推進行動計画

基本理念

日本建築学会は、本会における男女共同参画の推進により、建築の多様で広範な分野における両性の自由で平等な参画と、ワーク・ライフ・バランスを実現し、持続可能な多様で豊かな生活空間の創造と改善をめざす。

活動方針

日本建築学会は、本会諸活動における男女共同参画を推進するため、下記の方針に基づき、活動を展開する。

1. 日本建築学会における女性会員の拡充と参画機会の拡大
2. 本会活動にかかわる男女共同参画推進のための調査・研究の実施
3. 多様で広範な建築分野における男女共同参画の普及・啓発・広報
4. 男女共同参画学協会連絡会や建築分野及びその他の諸団体との連携
5. 建築分野その他各界への助言・提言

これらの活動方針に基づき、具体的な活動計画と達成目標を定め、その成果の検証を行う。

以下は、当初定めた活動計画・目標とともに、2009年度の活動状況と今後の課題をまとめたものであり、2009年度の成果の検証と2010年度の活動に向けての基礎とするものである。

1. 日本建築学会における女性会員の拡充と参画機会の拡大

1) 会員の女性比率を目安とした役員・各種委員会等への女性会員の参画

目 標 役員・各種委員会の女性の比率を、学会の女性会員比率と同じ比率とする。

[参考] 正会員の女性比率：2008年度 11.7%，2009年度 12.2%

活動状況 ・会員・各種委員会委員の男女比率の実態調査の実施。

・委員会における女性会員の参画機会の拡大について文書により周知。

課 題 ・委員会別男女比率の実態調査，委員会等における女性会員の参画機会の拡大についての周知活動を継続し，効果についても定期的に確認していく。

2. 本会活動にかかわる男女共同参画推進のための調査・研究の実施

1) 民間セクターにおける男女共同参画実態調査

目 標 設計事務所，建設業，ハウスメーカー，大学などの情報収集。

活動状況 ・男女共同参画に関する懇談会の実施（2009年度は計3回）。→詳細は3-2)に掲載
・2011年度の実態調査（アンケート）実施に向け，2006年に男女共同参画社会と建築学特別研究委員会が実施した調査「民間セクター調査」等の結果検証に着手。

課 題 ・男女共同参画に関する懇談会（2～3回/年）の継続。

・2011年度の実態調査実施に向けた調査計画の取り纏め。今後，定期的（数年おき）に調査を実施していく計画としているため，定期的（数年毎）に調査を実施していくための仕組み，定期的に把握すべき調査項目を検討しておく必要がある。

2) 大学における女性教員拡充のための教員実態調査

目 標 大学における取り組みの情報収集

活動状況 ・2011年度の実態調査（アンケート）実施に向け，対象および方法を検討。

課 題 ・2011年度の実態調査実施に向けた調査計画の取り纏め。[2-1)]と同様，今後，定期的（数年おき）に調査を実施していく計画としているため，定期的（数年毎）に調査を実施していくための仕組み，定期的に把握すべき調査項目を検討しておく必要がある。メールによるアンケートの配布・回収方法も検討課題。

3. 多様で広範な建築分野における男女共同参画の普及・啓発・広報

1) 建築学会ホームページにおける男女共同参画推進委員会のページの開設と充実

目 標 ホームページの開設と充実

活動状況 ・2009年7月1日ホームページ開設完了。適宜内容を更新している状況。

課 題 ・公開すべき資料のピックアップおよび検証を進め，ホームページの内容を充実させる必要がある。今後は，内閣府男女共同参画局，男女共同参画学協会連絡会，関連各団体とのリンクを貼っていくことも検討する。

2) 男女共同参画に関する情報収集シンポジウム，懇談会等

目 標 企業や大学における取り組みの現状を広報

活動状況 ・男女共同参画に関する懇談会の実施し（2009年度は計3回），概要をホームページで紹介。

①第2回 2009年7月27日，話題提供：古賀靖子委員（九州大学）

②第3回 2009年10月23日、話題提供：穂本敬子委員（セキスイハウス㈱）

③第4回 2010年2月5日、話題提供：柏俣明子委員（大林組㈱）

- 課題
- ・2010年度大会でのパネルディスカッション開催を検討したが、パネリストを北陸へ招聘することが困難となり次年度へ先送りさせていただくこととしたため、引き続き、2011年度大会（関東）でのパネルディスカッション開催を検討する。
 - ・懇談会については、民間企業に加え、大学なども含め様々な職場の現状を把握するため、引き続き年に2～3回程度開催していく。また、概要をホームページに掲載し、情報発信も行っていく。

3) アーカイブの作成

目標 日本のパイオニア的女性建築家の史料を蒐集

活動状況

- ・2010年は国際女性建築家協会（UIFA）韓国大会開催、国際女性建築家アーカイブ（IAWA）設立25周年の年にあたることから、これら2団体や他の国内諸団体との連携によるパイオニア的女性建築家に関する展覧会・小規模な国際シンポジウム開催を企画・検討。

課題

- ・2011年6月頃の展覧会・国際シンポジウム開催を目標とした、企画・資金調達準備。
- ・日本のパイオニア的女性建築家の史料蒐集については、収蔵スペース確保の問題から、現状では実物の蒐集は難しく、引き続き検討していく必要がある。

4. 男女共同参画学協会連絡会や建築分野及びその他の諸団体との連携

1) 男女共同参画学協会連絡会諸活動への参加

目標 運営委員会やシンポジウムに参加

活動状況

- ・2009年10月に開催された学協会連絡会のシンポジウムに参加
 - －シンポジウム資料への本会男女共同参画推進委員会の活動報告掲載
 - －分科会「学協会での男女共同参画の取り組み」で中島幹事が講演
 - －ポスターセッションへの参加
- ・学協会連絡会運営委員会への参加

課題

- ・2010年度についても学協会連絡会運営委員会に参加し、建築学会としての課題があれば協力または取り組み、シンポジウムにも積極的に参加していく。

2) 建築分野諸団体との連携・情報交換によるプラットフォームの構築

目標 プラットフォーム構築への足がかりを作る

活動状況

- ・建築士連合会の女性委員会やUIFAなどの他団体の活動の状況に関する情報を収集。

課題

- ・今後、建設業界女性委員会、建築士連合会の女性委員会やUIFAなどの他団体との連携を図る方策を検討し、実現に向けて情報交換活動を行っていく。

3) その他

優れた取り組みの紹介

目標 支部における取り組みの紹介

活動状況

- ・情報収集と広報を兼ねて支部における取り組みの紹介（表彰）を行うことを検討。

課題

- ・実施方法等、具体化に向け引き続き検討を進める。

以上

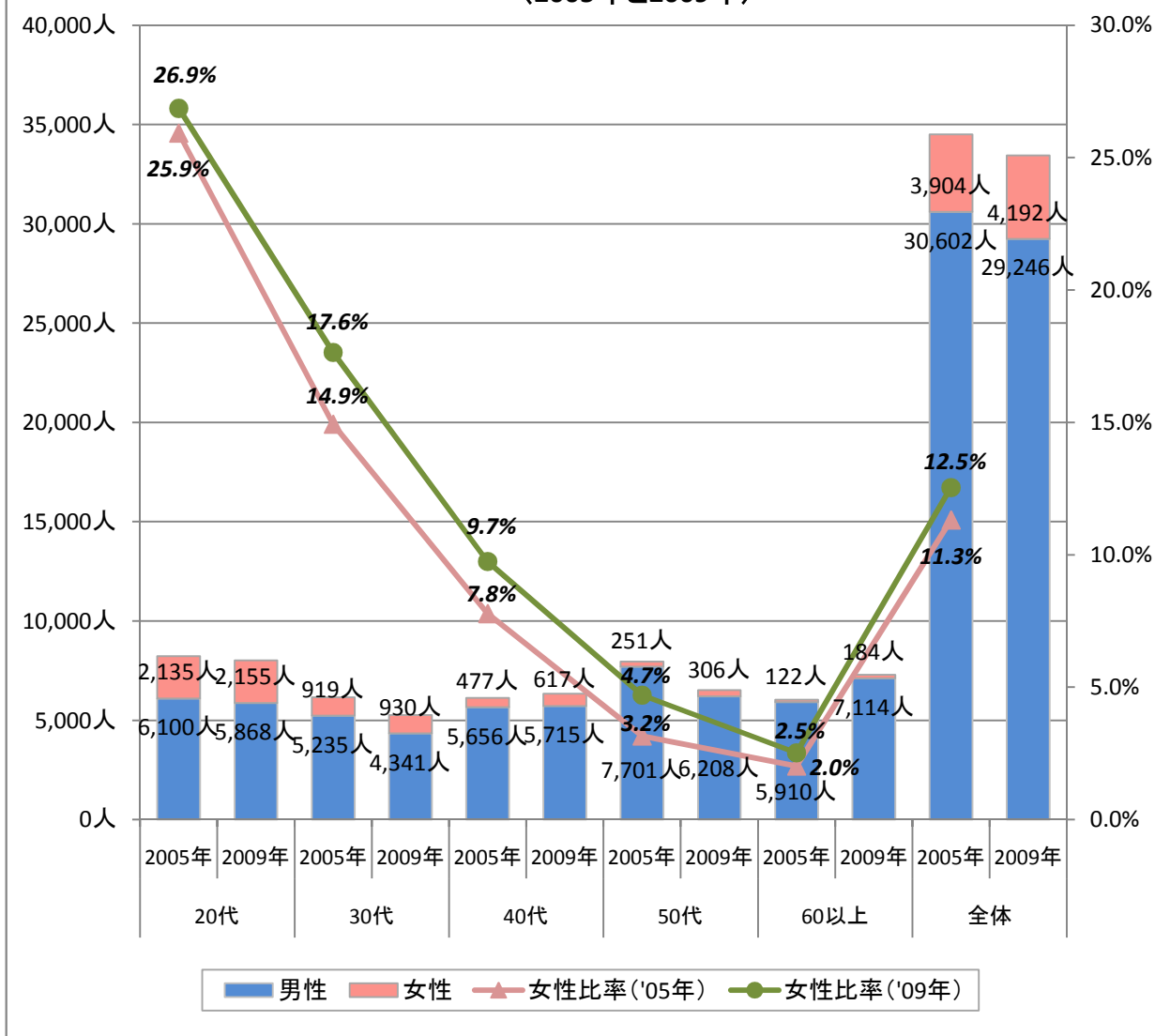
日本建築学会委員会別男女比率

2010年1月現在

区分	'09年度			'08年度			前年比			備考
	女性 (人)	男女計 (人)	女性 比率	女性 (人)	男女計 (人)	女性 比率	女性比率 増減	女性数 増減	男女計 増減	
正会員	4,023	32,869	12.2%	3,888	33,341	11.7%	0.6%	135	-472	2009年11月現在
準会員	169	569	29.7%	194	629	30.8%	-1.1%	-25	-60	2009年11月現在
委員会										
理事会(1)	3	35	8.6%	3	35	8.6%	0.0%	0	0	
表彰委員会(7)	8	120	6.7%	10	119	8.4%	-1.7%	-2	1	
表彰委員会	1	12	8.3%	1	12	8.3%	0.0%	0	0	
大賞選考委員会	1	10	10.0%	1	10	10.0%	0.0%	0	0	
学会賞選考委員会	1	44	2.3%	2	43	4.7%	-2.4%	-1	1	
教育賞選考委員会	3	10	30.0%	2	10	20.0%	10.0%	1	0	
奨励賞選考委員会	0	24	0.0%	2	24	8.3%	-8.3%	-2	0	
作品選奨選考委員会	1	10	10.0%	1	10	10.0%	0.0%	0	0	
文化賞選考委員会	1	10	10.0%	1	10	10.0%	0.0%	0	0	
総務(8)	23	109	21.1%	21	100	21.0%	0.1%	2	9	
総務委員会	0	4	0.0%	0	4	0.0%	0.0%	0	0	
財務運営委員会	2	17	11.8%	2	16	12.5%	-0.7%	0	1	
選挙管理委員会	1	7	14.3%	1	7	14.3%	0.0%	0	0	
会員委員会	2	13	15.4%	2	14	14.3%	1.1%	0	-1	
国際交流委員会	1	7	14.3%	0	8	0.0%	14.3%	1	-1	
会館委員会	1	11	9.1%	1	12	8.3%	0.8%	0	-1	
倫理委員会	3	32	9.4%	2	21	9.5%	-0.1%	1	11	2小委員会含む
男女共同参画推進委員会	13	18	72.2%	13	18	72.2%	0.0%	0	0	
学術推進(17)	511	6,113	8.4%	480	6,251	7.7%	0.7%	31	-138	
学術推進委員会	1	33	3.0%	0	33	0.0%	3.0%	1	0	
材料施工委員会	24	659	3.6%	25	724	3.5%	0.2%	-1	-65	2009年11月現在
構造委員会	28	1,759	1.6%	25	1,809	1.4%	0.2%	3	-50	2009年11月現在
建築歴史・意匠委員会	9	201	4.5%	10	206	4.9%	-0.4%	-1	-5	2009年11月現在
防火委員会	12	232	5.2%	10	244	4.1%	1.1%	2	-12	2009年11月現在
建築社会システム委員会	37	232	15.9%	37	252	14.7%	1.3%	0	-20	2009年11月現在
環境工学委員会	163	1,313	12.4%	156	1,249	12.5%	-0.1%	7	64	2009年11月現在
建築法制委員会	7	77	9.1%	5	57	8.8%	0.3%	2	20	2009年11月現在
建築教育委員会	12	69	17.4%	10	61	16.4%	1.0%	2	8	2009年11月現在
都市計画委員会	37	221	16.7%	34	253	13.4%	3.3%	3	-32	2009年11月現在
建築計画委員会	105	576	18.2%	101	593	17.0%	1.2%	4	-17	2009年11月現在
農村計画委員会	30	112	26.8%	30	126	23.8%	3.0%	0	-14	2009年11月現在
海洋建築委員会	2	60	3.3%	2	60	3.3%	0.0%	0	0	2009年11月現在
情報システム技術委員会	19	246	7.7%	17	289	5.9%	1.8%	2	-43	2009年11月現在
文教施設委員会	0	16	0.0%	0	9	0.0%	0.0%	0	7	2009年11月現在
災害委員会	5	70	7.1%	2	69	2.9%	4.2%	3	1	2009年11月現在
地球環境委員会	20	237	8.4%	16	217	7.4%	1.1%	4	20	2009年11月現在
社会ニーズ対応推進(6)	12	161	7.5%	11	143	7.7%	-0.2%	1	18	
社会ニーズ対応推進委員会	0	16	0.0%	0	15	0.0%	0.0%	0	1	
建築学からみたあるべき構造設計特別調査委員会	0	20	0.0%	1	19	5.3%	-5.3%	-1	1	
既存建築を活かす対震改修デザイン特別調査委員会	3	16	18.8%	3	16	18.8%	0.0%	0	0	
環境技術と建築・街並み・地域のあり方特別調査委員会	1	47	2.1%	2	37	5.4%	-3.3%	-1	10	4小委員会含む
建築にかかわる社会規範・法規特別調査委員会	7	41	17.1%	4	34	11.8%	5.3%	3	7	3小委員・2WG含む
災害予防・復興支援のための活動基盤整備と行動計画策定特別調査委員会	1	21	4.8%	1	22	4.5%	0.2%	0	-1	
学術レビュー(6)	16	171	9.4%	14	169	8.3%	1.1%	2	2	
学術レビュー委員会	0	9	0.0%	0	8	0.0%	0.0%	0	1	
論文集委員会	9	63	14.3%	6	63	9.5%	4.8%	3	0	
英文論文集委員会	1	20	5.0%	1	19	5.3%	-0.3%	0	1	
総合論文誌委員会	2	11	18.2%	2	11	18.2%	0.0%	0	0	
技術報告集委員会	3	51	5.9%	4	51	7.8%	-2.0%	-1	0	
作品選集委員会	1	17	5.9%	1	17	5.9%	0.0%	0	0	
教育普及事業(9)	17	132	12.9%	17	134	12.7%	0.2%	0	-2	
教育普及事業委員会	1	9	11.1%	1	9	11.1%	0.0%	0	0	
建築教育認定事業委員会	1	17	5.9%	1	13	7.7%	-1.8%	0	4	
刊行委員会	1	15	6.7%	1	14	7.1%	-0.5%	0	1	
教材委員会	1	8	12.5%	2	15	13.3%	-0.8%	-1	-7	
能力開発支援事業委員会	1	13	7.7%	0	13	0.0%	7.7%	1	0	
設計競技事業委員会	2	11	18.2%	2	12	16.7%	1.5%	0	-1	
卒業論文等顕彰事業委員会	3	28	10.7%	2	28	7.1%	3.6%	1	0	
建築文化事業委員会	1	13	7.7%	1	11	9.1%	-1.4%	0	2	
子ども教育事業委員会	6	18	33.3%	7	19	36.8%	-3.5%	-1	-1	
情報(5)	11	76	14.5%	11	71	15.5%	-1.0%	0	5	
情報委員会	1	10	10.0%	0	9	0.0%	10.0%	1	1	
図書委員会	1	12	8.3%	1	12	8.3%	0.0%	0	0	
建築博物館委員会	2	13	15.4%	2	13	15.4%	0.0%	0	0	
会誌編集委員会	5	31	16.1%	6	26	23.1%	-6.9%	-1	5	
情報ネットワーク委員会	2	10	20.0%	2	11	18.2%	1.8%	0	-1	

※会員外は除く

日本建築学会会員年齢別男女分布比較 (2005年と2009年)



■日本建築学会年齢別男女分布

	20代		30代		40代		50代		60以上		全体	
	2005年	2009年	2005年	2009年	2005年	2009年	2005年	2009年	2005年	2009年	2005年	2009年
男性	6,100人	5,868人	5,235人	4,341人	5,656人	5,715人	7,701人	6,208人	5,910人	7,114人	30,602人	29,246人
女性	2,135人	2,155人	919人	930人	477人	617人	251人	306人	122人	184人	3,904人	4,192人
合計	8,235人	8,023人	6,154人	5,271人	6,133人	6,332人	7,952人	6,514人	6,032人	7,298人	34,506人	33,438人
女性比率('05年)	25.9%		14.9%		7.8%		3.2%		2.0%		11.3%	
女性比率('09年)	26.9%		17.6%		9.7%		4.7%		2.5%		12.5%	

※2005年9月現在, 2009年11月現在のデータを使用